

わたしはダフネ (2019)

DAFNE

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 イタリア

色彩 Color

時間 94分

初公開日 2021/07/03

公開情報 ザジフィルムズ

【キャッチコピー】

あなたとなら、信じられる。
世界はやさしさに満ちている、と。

【解説】

第69回ベルリン国際映画祭パノラマ部門で国際批評家連盟賞を受賞した感動のハートフル・ロードムービー。ある日突然、最愛の母を亡くし、残されたダウン症の娘とふさぎ込む父が、母の故郷へ徒歩で向かう2人旅を通して、互いへの理解を深め合い、大きな喪失を乗り越えていく姿を描く。主演は監督がSNSで見出したという演技初挑戦のカロリーナ・ラスパンティ。共演にアントニオ・ピオヴァネッリ、ステファニア・カッシーニ。監督は本作が長編2作目のフェデリコ・ボンディ。

スーパーで働く快活で社会的なダウン症のダフネは、母マリアと父ルイジと平穏に暮らしていた。ところがある日、よき理解者だったマリアが突然亡くなってしまう。悲しみに暮れる父と娘だったが、ダフネは職場の同僚や友人たちに支えられ少しずつ明るさを取り戻していく。いっぽう年老いたルイジは、喪失の痛みに加え、娘の将来に対する不安が大きくなるのしかかり、すっかりふさぎ込んでしまう。そんな父の様子を見かねたダフネが、一緒に母の故郷へ歩いて向かおうと提案する。こうして父と娘の2人だけのぎこちない旅が始まるのだったが…。

【クレジット】

監督	フェデリコ・ボンディ	Federico Bondi	
製作	マルタ・ドンゼッリ	Marta Donzelli	
	グレゴリオ・パオネッサ	Gregorio Paonessa	
原案	フェデリコ・ボンディ	Federico Bondi	
	シモーナ・バルダンツィ	Simona Baldanzi	
脚本	フェデリコ・ボンディ	Federico Bondi	
撮影	ピエロ・バッソ	Piero Basso	
編集	ステファノ・クラヴェーロ	Stefano Cravero	
音楽	サヴェーリオ・ランツァ	Saverio Lanza	
出演	カロリーナ・ラスパンティ	Carolina Raspanti	ダフネ
	アントニオ・ピオヴァネッリ	Antonio Piovanelli	ルイジ
	ステファニア・カッシーニ	Stefania Casini	マリア